

広報 五城目

発行 五城目町役場 ☎01885②2100代
☎018-17
秋田県五城目町高崎字雀館下川原64の4
編集 文書広報課
印刷 湖東印刷所 ☎01885②2430
毎月1日・15日発行 一部 35円



親身になって若いお母さんの相談に応じる工藤チヨさん

豊かな経験で相談に

工藤さんは町の家庭教育相談員

町には幼児や青少年の家庭教育上の相談に応じ、その問題の解決にあたっている人がいます。
この人は工藤チヨさん（古川町）で、家庭教育相談員と呼ばれています。町の家庭教育相談員は、昨年の六月に設置されました。現在、県内で六十人ちい人が、家庭教育相談員として活躍しています。

相談日は毎週火曜日・広域体育館の特別室で

相談日は毎週火曜日で、午前九時から午後四時まで広域体育館の特別室で相談に応じています。また、手紙や電話による相談でもかまいません。日ごろ家庭教育で悩んでいることや、子どもの健康、しつけなどについて、気軽に相談してください。相談内容については秘密を守ります。

学校勤務二十九年の家庭教育相談員

家庭教育相談員の工藤さんは、昭和二十六年から十八年まで、馬川小学校の学校看護婦として働いています。二十九年には養護教員に任命され、五十五年まで五城目小学校、五城目第一中学校、馬場目小学校と同中学校で、子供たちの保健管理と指導にあたってきました。また、杉沢小学校で一年間、講師を務めるなど、二十九年にわたって学校教育に携わってきており、教育について豊かな識見と指導技術を身につけた人です。

一人で悩んでいないで気軽に利用を

工藤さんは「町内のみなさんは、町に家庭教育相談員のいることをご存じないせいか、あまり利用してくれない」と残念そうでした。また「最近の家庭は核家族化が進み相談相手がいなく、子どもの教育で悩んでいる若いご夫婦がいると思います。このような時はぜひ相談員を利用してほしいと思います」と語っていました。それで今年度から、家庭教育学級が開かれる場合は、その会場に必ず顔をだすようにして、積極的にお母さんたちと親しくなるように、心がけているそうです。

「一人で悩んでいないで、相談してほしいと思います。二人で話し合えばよい知恵も生まれるし、悩みも半分になるはず」と、町内のみなさんが気軽に相談にみえられることを強く望んでいました。

▽連絡先 五城目町上樋口字堂社七五

五城目町公民館内 家庭教育相談員

☎②4411（内線69）

《日本赤十字社》

社員の増強にご協力を

日本赤十字社は、毎年五月一日から三十一日までの一カ月間、全国一斉に「赤十字運動強調月間」を展開しています。

この運動の目的は、国の内外にわたる各種事業が円滑に実施できるように、赤十字社員の増強と事業資金の募集、そして赤十字についての理解とご協力をお願いするものです。

赤十字は、自分の余暇や努力、能力を社会のために奉仕して下さるみなさんや、赤十字社員として、社費、寄付金をだしてくださるみなさんによって支えられています。社員の資格は四百円以上納付すればだれでも得られます。また、個人だけではなく法人も加入できます。

五城目町の目標は、社員数三千

八百世帯、その社費総額は百五十八万三千二百円となっています。

日本赤十字社では現在、世界の赤十字と手をつなぎ、国の内外で活発な活動を続けています。全国の社員から集めた社費は、この活動の重要な資金になります。日本赤十字社秋田県支部の主な事業は次のとおりです。

▽災害救護

災害が発生すると、いっどこにでも救護班を派遣し、救護活動が敏速にできるように体制を整えています。

▽血液事業

県民が安心して輸血を受けられるよう、採血目標七万六千本の達成をめざしています。

日で満六歳以上の方。

▽申し出の方法

郵便局では、身体障害者福祉強調運動の郵便はがきを、重度障害者の方に無料で差しあげています。希望者は、お近くの郵便局へ申し出てください。

配付の対象者と申し出の方法は次のとおりです。

▽対象者

重度の身体障害者（一級・二級）で昭和五十七年三月三十一

▽期 限 五月三十一日
▽配付枚数 一人につき二十枚

▽病院経営と看護婦の養成

医療事業として秋田赤十字病院では、一般診療のほか、災害時における医療救護など、広く地域住民の医療保健につとめています。

▽児童福祉施設の経営

秋田赤十字乳児院では、身よりのない子、親のない子など恵まれない乳児を収容、養育につとめています。

▽三大講習

家庭看護法、救急法、水上安全法の実技講習は、地域からの要請に応え普及につとめています。

▽赤十字奉仕団

人道、博愛の精神のもとに組織されている奉仕団の育成に、積極的に援助助成しています。

▽国際活動

ジュネーブにある赤十字国際委員会と赤十字社連盟を中心にして各国赤十字社（二八カ国加盟）が協力しあい、戦争犠牲者や災害被災者の救援、また発展途上国赤十字社の開発計画を推進しています。

老人人材銀行から

働きたい人
働いてもらいたい人

シルバーバンクへ

昨年八月発足したシルバーバンク事業は、いよいよ二年目を迎えました。昨年度中は町民多数の方

々からご協力をいただき、今年三月までの八カ月間の作業日数は、百二十八日、働いた延人数は三百二十人となっています。

シルバーバンクで働く人は「年寄りの仕事だと思われたくない」という気持ちで頑張っています。仕事はいいに、きれいにモットーにしております。

また働いてもらいたい人は「どんな老人（ひと）がきてくれるだろうか」と心配していると思います。しかし一度仕事を依頼した人は再度仕事の依頼に参ります。

シルバーバンクでは「働きたい人」「働いてもらいたい人」の申し込みをいつでも歓迎しています。働いてもらいたい人には、電話くださるだけで担当者が伺いますからご連絡ください。

また働きたいと考えている人にとっては、老後を家で漠然と過ごすのではなく仲間と一緒に元気で仕事することによって、より充実した人生を送ることができ、若さを保ち続けることにもなります。六十歳以上の人で働いてみたいと思っている方は、ふるって申し込んでください。電話くだされば、内容をご説明いたします。

なお、平日（四時間）の謝礼金は次のとおり。

大 工	二、四〇〇円
家具、建具	二、二〇〇円
草とり清掃	
家事手伝い、留守番	一、五〇〇円
一般事務補助	一、六〇〇円

連絡先

五城目町社会福祉協議会

☎ ②2768（直通）
②2100（役場）

五城目町へ

ようこそ

▽四月十六日・十七日

秋田和洋高校水泳部（十人）
水泳練習：温水プール
宿 泊：町民センター

▽四月二十一日

男鹿市若妻会（三十人）
雀館公園日本庭園を見学
▽四月二十二日・二十四日

スズキ部品製造（株）（十三人）
社員宿泊研修：町民センター
▽四月二十四日・二十五日

森吉町囲碁クラブ（十四人）
囲碁大会・宿泊：赤倉山荘
第八回全県中学校招待
バレーボール五城目大会
参加者 約 五百人
会 場：広域体育館
▽四月二十五日

▽四月二十六日

第二回春季全県ゲートボール
五城目大会
参加者：約 五百人
会 場：雀館運動公園広場
宮城県多賀城市市役所職員
（二人）
温水プールの施設状況を視察



町民センターで宿泊研修を行うスズキ部品（株）のみなさん

国民年金保険料

国民年金の保険料が引き上げられ、四月から五千二百二十円になりました。

今回の引き上げは、一昨年の国会で決められたとおり、四千五百円に三百五十円をプラスしたものに昭和五十五年度の物価上昇率七・八割を上乗せした額です。付加保険料の四百円は変わりません。国民年金は、年をとったり、障害者や母子世帯になったときに、

年金を支給して生活の安定を図ることを目的にしています。このため、国民年金の老齢年金や障害年金、母子年金などは、物価上昇に比べて目減りしないように毎年引き上げ（物価スライド）が行われています。また日本の人口は、急速に高齢化が進んでおり、それだけ年金受給者が増え続ける状況にあります。

もし保険料を据え置いて、年金額を引き上げることになれば、物価の上昇、年金受給者の急増ということから、国民年金財政を健全に保つことは難しくなります。将来に向って適切な給付水準を保ち

国民年金を健全に維持するためには、どうしても保険料の引き上げが必要です。

今回保険料が引き上げられましたが、引き上げの額については、加入者のみなさんに対して、急激な負担にならないように十分検討して決定したものです。

現地立入り測量

東北農政局

東北農政局では、広域農業開発基本調査秋田北部地域調査計画の

ため、関係地域内に立入って測量調査を行います。また県でも同計画のために現地調査を行います。

▽立入り場所

五城目町外二十六市町村

▽立入り期間

昭和五十七年五月六日
～五十八年三月三十一日

▽立入り者

・東北農政局雄物川水系農業水利調査事務所職員
・県農政部農地開発課技術吏員
・農林事務所土地改良課技術吏員

五城目軍需の草創と変遷

(7)

石井金之助

大正十年十二月

指物組合山神講員

(たんす、建具、塗師、合同)

菅沢梅蔵、齊藤政太郎、栗山新之助、小森金次郎、北島久蔵、和田喜代吉、永井秀之助、近藤三蔵、北島幸吉、三村三治、渡辺兵治、渡辺西蔵、高桑龍太郎、菅沢富治、渡辺理一郎、栗山鉄之助、秋山与一郎、石井金之助、初岡正巳、富樫栄助、佐藤倉吉以上二十一名。
大正十年、新加入者、石井研次郎、藤原順助、長谷川小四郎、菊地豊之助、渡辺謙治、米沢徳蔵、藤田英吉、小玉徳次郎、渡辺真一。

五城目指物組合総会

大正十年十二月、五城目指物組合では総会を開き、役員改選。組合長菅沢梅蔵、副組合長齊藤政太郎、会計栗山新之助、評議員小森金次郎、同和田喜代吉、同北島久蔵、同永井秀之助。

▽大正十年のたんすの値段

(標準品)

杉製大形・二つ重ね・四つ引出

間口 二尺八寸

奥行 一尺四寸

高さ 三尺三寸

木地価格 九円

塗仕上価格 一三円

木地工賃 二円二〇銭

前桐・二つ重ね・五つ引出

間口 二尺八寸

奥行 一尺四寸

高さ 三尺五寸

木地価格 一五円

塗仕上価格 二三元

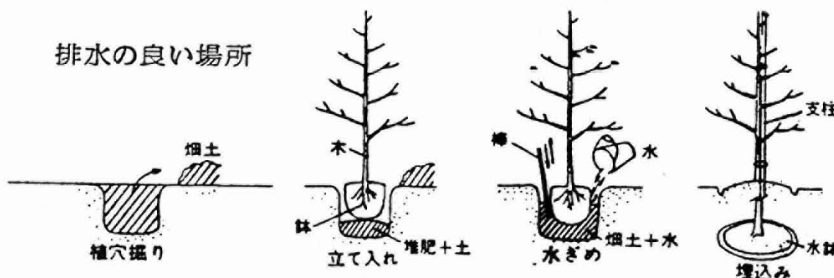
木地工賃 二円六〇銭

記念樹の植樹方法

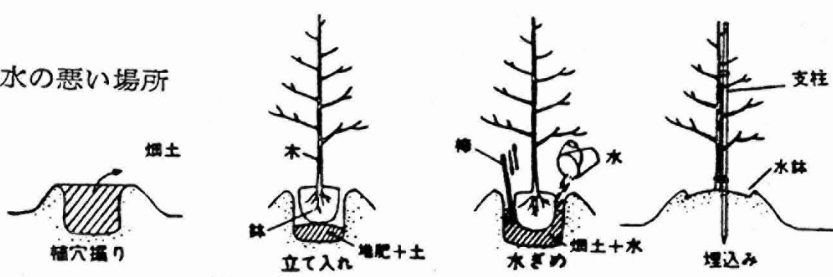
町では役場庁舎新築移転記念樹の苗木を四月二十九日から各町内会に配布しましたので、左の図を参考に植樹するようお願いいたします。

苗木は十九種類、約四千六百本用意しましたが、調達できなかった樹種（規格）もあります。苗木の植え付けにあたっては、排水の良い場所か、悪い場所か確かめてください。排水の悪い場所では、盛土をしてから植穴掘りをする必要があります。

排水の良い場所



排水の悪い場所



洗剤を上手に使ってよい環境

川や湖を汚さないで



スポーツ教室に
参加しませんか

公民館では、昭和五十七年度町民スポーツ教室の受講生を募集しています。受講を希望する方は、公民館の社会体育係（電話4411）へ電話などで申し込んでください。募集期間は五月八日までです。

町民スポーツ教室の内容は次のとおりです。

①高齢者体力づくり教室

・対象 六十歳以上 男女五十人
・日時 昭和五十七年五月二十六日、五十八年二月二十三日（毎月最終水曜日：計十回）
午前 九時～十一時

・内容

健康体操・簡易サッカー・マツト運動・バドミントン・フットダンス・ゲートボールなど

・経費 傷害保険料：四百円

②ママさん卓球教室

・対象 家庭婦人三十人
・日時 一期：五月十二日～七月 十四日
二期：九月八日～十一月二十四日
三期：昭和五十八年一月十九日～三月二十三日
（毎週水曜日：計三十回）
午後 二時～三時三十分

・内容

美容体操・ウエイトトレーニング・サーキットトレーニング・卓球など

・経費

スポーツ傷害保険：六百八十円

③ママさん水泳教室

・対象 家庭婦人三十人
・期日 一期：五月十三日～七月 十五日
二期：九月九日～十一月二十五日
三期：昭和五十八年一月二十日～三月二十四日
（毎週木曜日：計三十回）

・内容

水泳（クロール・背泳ぎ・平泳ぎ）の基本泳法

・経費 プール利用料金

一回：二百五十円
スポーツ傷害保険：六百八十円

④ジュニア水泳教室

・期日 一期：五月十一日～七月二十四日
二期：八月二十三日
三期：昭和五十八年一月十日～三月二十六日
（毎週二回）

・内容

小学校一～四年生
水泳（クロール・背泳ぎ・平泳ぎ）の基本泳法

・経費

プール利用料金：一回六十円
スポーツ傷害保険：三百四十円

⑤体操教室

・対象 小学生以上
・日時 一期：五月十日～七月二十三日
二期：八月二十三日
三期：昭和五十八年一月十日～三月二十五日

・内容

トランポリン・マット・鉄棒・とび箱・平均台など

・経費

スポーツ傷害保険：三百四十円

バドミントン

初心者教室

五城目町バドミントン協会ではバドミントン初心者教室を開きます。

▽日時

五月二十一日から六月二十五日まで毎週金曜日
（計六回開催）
午後六時半～八時半

▽場所 広域体育館

▽申し込み先

公民館（電話4411）
沢田石登・役場庶務課（電話2100）

（当日、体育館でも受け付けます）



新刊図書のご案内

小説本がいろいろ入りました。さうりと読んでみた一冊、ゆとりのある時間をみつめて読んでみませんか。

・女の顔は請求書

・アラスカ物語

・一輪の愛をください

・けやき並木に陽あふれ

・銀の館「上」「下」
・ふおんしいはるとのむすめ「上」「下」

五一中男子決勝で敗れる

全県中学校招待バレーボール

第八回全県招待バレーボール五城目大会は、四月二十四日、二十五日、広域体育館で男子十チーム女子二十二チームが参加して行われました。

▽男子準決勝

鷹 2 15 15 15 15
0 二ツ井

▽同決勝

五城目 2 15 15 15 15
0 井川

▽女子準決勝

鷹 2 15 15 15 15
1 五城目

▽同決勝

雄 2 15 15 15 14
1 鷹 巢

▽同決勝

大 2 15 15 15 13
0 象 潟

▽同決勝

大 2 15 15 15 7
0 雄 和



五一中の女子チームは二回戦で敗退（対上小阿仁戦）

五月テレビ広報番組

▽ABS秋田放送

テレビ県民室

午後五時～五時十五分

二日 県政報告

九日 魅力ある秋田を目指して

一六日 シリーズあきた東西南北

二三日 八郎湖クレーン大作戦

三〇日 県政報告

五月の県政から

県政の広場

午後五時十五分～五時三十分

AKT秋田テレビ

県政の広場



一日 知事に聞く

八日 母子・父子家庭に

一五日 シリーズ

県政第一線ただ今奮闘中

二二日 空港周辺の緑地整備

二九日 知事に聞く

五月の県政から

私の旅 ③

タンゴの国で感動の連続

～ 南米移住者激励の旅 ～

小 玉 チ エ



世界最大規模のイグアスの滝

地球の反対側に旅立つ

気の遠くなるような遠い国、飛行機を乗りついで、アルゼンチンのブエノスアイレスに到着したのが、羽田を飛立って四十二時間後の五十二年五月一日、南米移住者激励と資源経済視察団の総勢八十二人の旅だった。在亜秋田千秋会創立三十周年記念式と、ブラジル県人会十五周年式典に参加する事が主な目的であった。

日本とは地球上の位置が反対側で、昼と夜、四季も逆の遠い移民の国で、その年月は違っても移住した肉身に逢う目的を持った人が多かった。

郷土の民謡に涙す

着いた翌日市内観光で、街の辻々に銃剣を構えて立っている兵隊の、ものものしさに一抹の不安を覚えた。しかしカミニート街は、アルゼンチンタンゴの発祥地だけ

に、各ストアの壁にはタンゴを踊る絵が思い思いに描かれていて、タンゴの曲が流れてくるように楽しかった。

千秋会の式典では、周辺の県出身者と家族約百人の外、南米の旅の団長小畑勇二郎ご夫妻を始め八十人が、ワインをくみかわし、同行の民謡の方達が心をこめて唄う秋田の唄に、遠い古里に想いを馳せてか、涙ぐんでの大感激だった。

五城目町から移住した工藤甚七さんが家族と一語に出席された。幾多の辛酸を経て生きてこられた工藤さんの顔には、南米の土と取り組んだ歴史が刻まれているように感じた。花作りで成功した方のお話や、苦労話等つきない。

大いなる希望で南米に移住した県人の躍進を祈って、アルゼンチンを後にし、私が甥「鍋谷研二」と逢う約束のイグアスへ向った。

一枚のコンタクトレンズを携えて

五十年一月にパラグアイに渡り土地を求め開拓しながら、大豆を主体に耕作している甥に手渡す荷物の中には、やっと連絡が届いた時に頼まれた、片目だけのコンタクトレンズが入っていた。だが約束の宿には来ず、がっかりした。

翌朝ブラジルのパラナ州とアルゼンチン国境に沿う、幅五キロ高さ百尺の世界最大の規模とも言われるイグアスの滝を見物し、豪快に流れ落ちる水のしぶきを浴びながら何度もシャッターを押した。

バスが発して間もなく後から追いかけてきた甥と、間一髪とも言わば感激の再会をすることが出来た。スペイン語も話せて、赤土の大地と取り組んで、たくましくなった甥と、半日行動を共にし話はずきないまま、サンパウロへ向う空港で別れた。

今は亡き大石さんをしのぶ

サンパウロでのブラジル県人会も盛大に行われ、下山内出身の大石さんご夫妻（運送業で成功された方）とお会い出来た。昨年亡くなられたとか伺い心を痛めているが、そのときいただいたトパーズの石で指輪を作り、今も大事にしている。

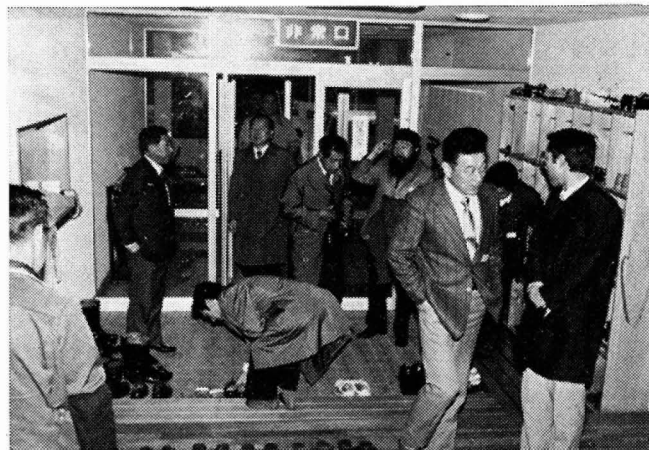
カーニバルで有名なりオデジャネイロも素晴らしい、ロスアンゼルスではお伽の国デイズニランドで遊び、ハリウッドチャイナタウンなどを観光し、パンクーパーを経由して無事十五日の旅を終えた。

この旅では数多くの再会がありドラマチックな出会いもあり、感動の連続だった。多国籍の人達が人種差別もなく大らかに闊歩している大陸に旅をして、平和を切に願ったものである。

カメラリポート

中国でバレエを披露

五一中生が友好交歓会に参加



赤倉山荘に立ち寄った先生たち

県・上海市友好交歓会に五城目町から参加した小林久美子さん（五城目第一中学校三年）は、四月十日・十一日に上海市で行われた文化公演でモダンバレエを踊り、たいへんな拍手を受けました。訪中団一行は文化部門六団体、スポーツ部門七団体で総勢二百七人。久美子さんは保育園の時からバレエを習っており、この交歓会メンバーに選ばれたものです。文化公演は上海市内随一の劇場で行われ、千八百人の観客で超満員だったそうです。久美子さんは他の中学生と二人で中国で人気のあるマンガの鉄腕アトムをモダンバレエで踊りました。



中国の少女と（右が久美子さん・左はバレエの相手役）

森山号で町内めぐり

転入新任の先生たちが交流会

今年度から町内の小、中学校と五城目高校で教鞭をとることになった先生たちの交流会が、四月十七日開かれ、参加した約二十人の先生たちは、新車の森山号で町内めぐりを行いました。

この交流会は、転入新任の先生たちに、小・中学校、高等学校の枠を越えて交流を深めてもらうとともに、町をよく知っていただくものと、町の教育委員会が計画したものです。あいさつにたった渡辺教育委員長は「教育は幼稚園から高校まで関連があり、お互いの意志の疎通を図っていただきたい」と述べました。

町内めぐりは午後一時二十分に広域体育館前を出発しました。当日はみぞれが降るあいにくの天気でしたが、予定どおり約三時間で町内をひととおりまわることができました。

町部祭典 五月十六日



お知らせ

小児マヒの生ワク投与

小児マヒの生ワクチン投与を次の内容で行います。対象になつてゐるお子さんは必ず受けてください

伝言板

親子読書会に入りませんか！

現代っ子はいそがしいという。時間のゆとりがないとか、クラブ活動とか、塾通いとか。でもテレビはみれる。お母さんも忙がしい。子どもの世話だ、主人の世話だ、仕事に忙しい、時間がない、などなど。

でもテレビはみれる。

担当者 坂谷 晃

い。当日、問診票と母子手帳を持参してください。問診票は、お子さんの健康状態をみきわめるための重要な資料ですので、必ず保護者が記入してください。

▽日程

・五月十一日(火)

五城目・面湯地区

・五月十二日(水)

馬場目・内川・富津内・大川地区

▽受付時間 午後一時～二時

▽場所 広域体育館 予備室

▽対象

・第一回投与

(1)昭和五十六年九月一日から五十七年一月三十一日までの出生者

(2)昭和五十六年二月一日から五十七年八月三十一日までの出生者

・未投与者

(3)以前に出生した者

石油燃焼機器の技術講習会

火災予防条例の改正により、石油燃焼機器(ストーブ、FF、給湯機、ボイラー等)の設置および点検整備は「熟練者」が行うことになりました。

本講習会は、この熟練者の養成と必要な知識、技術の習得を目的として開催するもので、受講することによって資格を得ることができます。

▽受講対象者

石油燃焼機器の設置および点検整備(販売)業務に従事している者、または従事しようとする者

▽受講場所および日時

・五月三十一日から六月一日(午前九時～午後五時まで) 三日間

・横手市民会館

▽受講料 一万二千元

▽受講手続き

五月十五日まで日本石油燃焼機器保守協会に提出してください。受講申請書の用紙は消防署にあります。詳しいことは消防署(電話2028)にお問い合わせください。

誕生

おめでとう

ございます



矢場崎	近野 卓夫	2、20	下樋口	笹尾 卓	2、24
樋口	猿田 陽一	2、21	四ツヤ	春美 友子	2、24
米沢町	康夫 選子	2、23	高崎	輝美 アツ子	2、25
寺庭	博明 朋子	2、23	雀館	司 由美子	2、25
曙町	石井 正義	2、23	大川四区	森田真富果	2、26
和夫	愛 正代	2、24	上樋口	誠孝 紀美子	2、26
美喜子	長女	2、24	利彦 瑞生	2、26	
			富津内台	阿部 由紀	2、26
			野田	直栄 美代子	2、26
			久悦 絹子	3、9	
			目黒弥寿子	3、11	
			育夫 薫	3、11	
			新里町	長女	3、11

▽問合せ先

県文書広報課
電話0188(60)1193

旧町内祭典

踊り山への参加者募集

五城目青年会

菊作り講習会

五城目町菊の会では、創立二十周年を迎えた記念に、菊作り講習会を開きます。できるだけ多くの人が講習会に参加し、美しい菊の花作りに挑戦してみたい。また、菊の会では菊作りを希望する人に、いろいろと便宜をはかることにしています。

日時 五月九日(日)

午後一時半

会場 築地町「高性寺」

会費 無料

講師 菊の会指導者

協賛 五城目町公民館

五城目青年会では、五月十六日(日)の旧町内祭典でねり歩く、踊り山車への参加者を、町内のみならず募集しています。この踊り山車は、祭典恒例の行事ですが、年々参加者が少なくなっています。同青年会では、祭りを盛り上げるために、たくさんの人たちが協力して下さるよう呼びかけています。詳しいことについては、次の方へご連絡ください。

猿田 豊和 電話4023

(五城目青年会長)

渡辺 公夫 電話2640